

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	・11月発売のポジョレーヌーヴォーの予約が9月から入っている。たくさん予約を取ったので、良くなる。
		コンビニ（経営者）	・クリスマスケーキやおせち、冬のギフト等、単価の高い商材の取扱いがコンビニで始まるため、今月より良くなる。
		コンビニ（店長）	・店舗リニューアルのため、10月5日から約20日間休業して、25日に再オープンした。今後、新装開店の効果が出ることを期待している。
		百貨店（副店長）	・9～10月上旬にかけては天候の影響もあり、冬物衣料の動き出しが悪かったが、中旬からは実売につながっているため、来月にかけて上昇傾向になる。
		スーパー（総務担当）	・気温が不安定という与件も大きいので、これから気温の低下とともに、衣料品の買い控えがなくなり、来客数、売上共に上がってくるとみている。
		スーパー（商品部担当）	・来客数、売上共に前年を維持できそうだが、良くなる材料は見当たらず、売上増まではいかない。人件費の高騰、改装店舗の休業中経費など、内部的に厳しい状況だが、改装後の期待感も含めて、やや良くなると期待する。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピック需要や消費税増税により、やや良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・競合店開業から1年が経過し、物販系の売上が回復してきているため、消費税増税前までは安定する見込みである。
		都市型ホテル（営業担当）	・例年の季節的なところからみて、12月までは稼働が良好になっていく。今月がやや良くなっている状況なので、これをベースに更に良くなればと期待感も含めて、やや良くなる。
		都市型ホテル（営業）	・忘新年会に向けて、現在営業している範囲では、客の反応も良く、順調に推移している。
		通信会社（営業担当）	・来年の消費税増税の影響で、年末商戦の消費増が見込まれる。
		設計事務所（所長）	・建設業に関してはしばらく忙しい時期が続くそうである。景気は上向いている。
		商店街（代表者）	・今月、また問屋の1つが廃業する。商品の流通が不透明になり、販売に不安が増してきている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・年が明けて改元の話も出て、動きがあるのではないかと。便乗して物が動いてくれればよいが、余り変わらないとみている。
		百貨店（営業担当）	・お歳暮ギフトやクリスマスといった年末商戦に突入するが、現況が改善する与件は見当たらない。特に中間所得層の消費は依然として厳しく、この状況はしばらくは継続する。
		百貨店（営業担当）	・人口規模の小さい地方都市では、ある時期の売上が良くても、その前後は買い控えや買い疲れが発生してしまい、1か月を通して、好調を維持するのは難しい状況にある。
		百貨店（店長）	・消費税増税決定のなか、軽減税率やその対象などの見通しが不明確である。
		乗用車販売店（販売担当）	・自動車販売店だが、サービス、修理も含めて良くなる要素がないまま、ずっと変わっていない。新型車も来年までは出る予定もないので、今後良くなるとは思わない。
		乗用車販売店（販売担当）	・例年、11月の末から12月の年末あたりは、中古車等がかなり売れる時期なので、今月より多少は良くなる。ただし、特別良くなることはなく、販売台数、車検、整備の入庫もほとんど変わらない状態で推移していくとみている。
		自動車備品販売店（経営者）	・身の回りに良くなる条件や新しい工場ができるなど、何か前向きな話が全くなく、人の動き、購買意欲等も余り感じられない。
	住関連専門店（店長）	・販売量、客単価、来客数のいずれも、前年とほぼ変わらない。	
	住関連専門店（仕入担当）	・ガソリン、灯油価格が高止まりしており、その他の日用品を圧迫している。将来への不安感はなく払拭されておらず、日用品への節約志向は継続している。特に消費税増税に向けての対応が定まらず不安感が増長されているため、厳しい状況は続く。	
	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・秋から冬への季節の変わり目で、購買につながる商材を提供できても、前年並みを確保する見通しが付かない。	
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・燃料関係の値上げが続いている。需要期に入り受注は増えてくるが、値上げの影響か、受注量を制限している。	
	一般レストラン（経営者）	・クリスマスやボーナス時期に差し掛かるが、先行きが見通せない状況に変わりはない。	

	スナック（経営者）	・季節柄、集客はあるとみているが、客単価の上昇は余り望めないで、前年と同じかあるいは少し下がるとみている。
	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・人手不足等の構造問題が、今後の重しになるのは避けられない。戦略の取り方がより重要になるとみている。全方位を対象とした規模拡大で中途半端になることなく、個店では特に、ターゲットにフィットする店づくりを行い、結果的に現状維持できるのではないかと。
	都市型ホテル（スタッフ）	・11～12月の宴会受注件数は確保しているものの、大型宴会の受注は前年と比べて少なく、大幅に数字を落としそうである。宿泊は堅調に推移している。
	都市型ホテル（副支配人）	・11月後半～12月にかけて、インバウンド予約が落ち込む。ただし、代わりに各種スポーツ、レース関係の予約をしっかりと取り込めており、1月まではこのままの好調さで推移できるのではないかと。
	旅行代理店（経営者）	・年末に向けて、高額商材が敬遠されている。なかなか先行きが見通せない。
	タクシー運転手	・地方では人通りが増えそうにない。当然タクシーの需要もない。
	テーマパーク（職員）	・夏の猛暑を考えると、これから冬季を迎えるが降雪などの天候が心配である。
	競輪場（職員）	・他競輪場の記念競輪レースの売上が、ほぼ同額で推移している。
	住宅販売会社（経営者）	・年内までは販売量が増えるのではないかと。少なからず消費税増税の影響による駆け込み特需があると予想している。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・紅葉の時期なので、道路等は混んでいるが、なかなか商売にはつながらない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・時期的なものだが、これから先の販売量は減る一方である。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・店全体の売上は伸びているが、その伸びは、辞めていく同業者から納品先を譲ってもらったことで、取引先が増えて伸びているだけである。店舗の来客数だけの売上は、落ちる一方である。
	コンビニ（経営者）	・売上の的には前年並みとなっているが、今月から最低賃金の改定による人件費の上昇もあり、利益は圧迫されている。また、バイト、パートの新規補充が難しくなっており、人件費の高騰につながっている。
	乗用車販売店（経営者）	・よく、地元の経済界の人たちと景気の先行きの議論をするが、政治、経済、外交（貿易を含む）に期待できないし透明性がないから不安と心配が先に来てしまうというのが結論になってしまう。もっと希望的観測を持たなくてはいけないのかも知れないが。
	一般レストラン（経営者）	・来客数が減っていることから、財布のひもが固くなっているとみている。市場で回るお金が減るので、景気は後退する。
	都市型ホテル（経営者）	・消費税増税の影響で、やや悪くなる。
	旅行代理店（所長）	・年末年始はあるが、オフシーズンに入る。また、暖冬予報もあり、スキー場のオープンが遅れないかと懸念している。
	タクシー（経営者）	・全体的に動きが悪いので、この先も良くない。
	タクシー（役員）	・人手不足である。
	通信会社（総務担当）	・今年は年末商戦に向けて、廉価商材が不足し、販売の拡大が望めないため、やや悪くなる。
	通信会社（局長）	・各企業とも人手不足が続いている。また、ガソリン価格の高騰も止まらない状況が、企業経営を圧迫している。
	ゴルフ場（総務担当）	・入場者数は平日コンペが減少しており、前年同月の予約者と比べてマイナス902名と、売上の減少が見込まれる。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・2014年9月政府発表の地方創生策から4年たったが、当地には影響がない。一方で、地元大企業のM&Aなどの影響が消費マインドを後退させている。今後の年末年始商戦に、顧客争奪は激化するが、小規模事業者は宣伝力、営業力に劣っており、現状維持さえ危ぶまれる。
x	コンビニ（経営者）	・気温が下がってくるので、来客数が見込めない。
x	衣料品専門店（統括）	・今年1年の祭りの時期が終わり、これからは通常の販売になる。祭り用品を専門で扱っているため、大変な時期となる。インターネット社会では、販売がだんだん難しくなるのではないかと。
x	通信会社（経営者）	・地方の景気は悪すぎる。いろいろな業種の経営者と話をするが、「いつ会社をたたむか。タイミングを見計らっている」等の声が多い。こうした経営者やそこで働く従業員が将来に不安を感じれば、財布のひもは固くなる一方である。

	x	通信会社（経営者）	・来年10月に消費税増税というニュースがメディアで飛び交うなか、地方景気が良くなる要素はない。百貨店縮小、地元大手企業は倒産目前と、悪い話題が先行している。	
	x	美容室（経営者）	・ITデジタル化や大型量販店全盛の社会を考えると、高齢者や買物弱者にとって、町の商店の役割は思った以上に大きい。カードやスマートフォン決済等が不得手な人たちにも配慮した、増税分の還元策を早急に示してもらいたい。	
企業 動向 関連 (北関東)		その他製造業 [環境機器] (経営者)	・2月からは発電量が増加するため、良くなる。	
		経営コンサルタント	・底堅い消費意欲、設備投資需要や教育訓練等の広義な投資が、なだらかに続いている。ただし、人手不足を解消するべく生産性向上の取組はまだ雰囲気的にも小さく、これをどれだけ促進、加速化できるかが鍵となる。	
		窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・例年より稼働している。	
		電気機械器具製造業 (経営者)	・受注状況からみて、10～12月は横ばい状態が続く。ただし、例年に比べて2割ぐらい仕事量は増えている。	
		電気機械器具製造業 (経営者)	・現状がしばらく続くとみている。	
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・この1～2か月は好調で、まずまずである。2～3か月先のことは余り分らないが、多分変わらない。	
		その他製造業 [消防用品] (営業担当)	・しばらくはこのまま推移する。	
		建設業 (開発担当)	・今期公共工事は前年比15%増と順調で、当社受注も前年比10%増である。これも現政権が長期安定していることに起因してのことである。ただし、建設業は少子高齢化の影響を受けて求人難であり、若者の求人は大変厳しい。当社もここ数年新卒者が入社しておらず、会社が高齢化する一方で、魅力ある企業作りが急務である。	
		建設業 (総務担当)	・この先の発注見通しから、このまま横ばいで進行しそうである。	
		輸送業 (営業担当)	・年末に向かい、暖房家電や冬物雑貨衣類などの物量が今後も増える予定である。しかし、ドライバー不足のため、特に大型車の手配が困難な状況で、車両手配に苦慮しそうである。また、燃料高も続きそうなので、厳しい状況になる。	
		不動産業 (管理担当)	・受注金額の引下げ要望をしてくる取引先は相変わらず多い。ただし、契約の見直しにより、当社の受注金額が上がる可能性のある話も多少出てきている。	
		司法書士	・何か月か先の将来を見越した相談等が来ていないので、変わらない。	
		社会保険労務士	・中国に輸出している企業もあるので、影響がどう出てくるのか分からず心配である。	
		その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	・現在の商談件数、受注量からみて、増加傾向にある。	
		x	化学工業 (経営者)	・原材料価格の値上げとともに、製品価格に転嫁しなければならず、受注出荷が下がると予想している。
			一般機械器具製造業 (経営者)	・当社の景気先行指標である油圧建機業界の一部では、年末に向けて大幅な減産が予定されている。
			通信業 (経営者)	・原油高の物価への影響が気になる。
		広告代理店 (営業担当)	・消費税増税の影響がある。	
雇用 関連 (北関東)		-	-	
		職業安定所 (職員)	・電気機械器具製造業から、受注増による人材確保のための派遣求人が増えている。	
		職業安定所 (職員)	・ほとんど全ての業種で、人手不足感が感じられる。求人も良い人がいれば欲しいという状態で、困っている企業も多い。	
		学校 [専門学校] (副校長)	・中小のサービス業を中心に、求人が出ている。また、事務系のパート職員への求人は、低い時給では敬遠され、他業種でも給与の高い職種を選ぶなど、今まで以上に企業が給与面で配慮しているようである。	
		人材派遣会社 (経営者)	・これからどうしても必要な時期に入る原油、ガソリン、灯油の価格が上がってきている。住宅、建設は横並び、自動車、電子、機械関係の製造は、今のところ動きはなさそうである。消費については、天候不順もあり、夏休みに結構出費が多かったと思われるので、買い控えが出てくるとみている。	
	人材派遣会社 (経営者)	・今のところ仕事はあるが、人手不足で売上が伸びない。		

	人材派遣会社（社員）	・物価上昇による家計負担は、身の回りでは増加する一方で、所得が増えるわけでもない。景気が良くなる実感はない。
	職業安定所（職員）	・平成29年5月以降、有効求人倍率は2倍前後で推移している。
	人材派遣会社（管理担当）	・携帯電話関連の派遣、請負が減少するため、やや悪くなる。
x	-	-